

筑北小学校

家庭学習の手引き

家庭学習のポイント

①「ながら勉強」に気をつけて

タブレットを使いながら、音楽を聴きながら、おやつを食べながらなどの「ながら勉強」は効果が上がりません。また、マンガやゲームが近くにあるような環境でも集中できません。静かに落ち着いて学習できる環境を作りましょう。



②決まった時間に毎日コツコツと

家庭学習は毎日続けることが大切です。習い事や社会体育などで十分な時間が確保できない日は、テレビやゲームの時間を減らしたり、家族で相談したりして、時間を見つけましょう。

③無理のない計画を立てて集中して

今ある自分の力を伸ばすために、集中して取り組むことが大切です。短時間で集中して勉強することが長続きのコツです。

④規則正しい生活を

「早寝、早起き、朝ご飯」の生活リズムを整えましょう。学校でも家庭でも、生き生きと学習に取り組めるよう、規則正しい生活をしましょう。

保護者のみなさんへ



小学校や中学校の学習は、将来、社会人として自立するための基礎となるものです。学校で学んだことを活かして、更に自分の力を高めていくためには、家庭学習の習慣化が大切です。

そこで、家庭での学習や生活をお子さんと一緒に考え、今のありようを見直していくための参考資料として「家庭学習の手引き」を作成しました。

ご家庭の事情やお子さんの実態に合わせてながら、お子さんが心を落ち着かせて自ら学習に取り組む時間をつくり、お子さんと共に学び合う家庭の空間を大切にいただけたらお子さんも幸せでしょう。

この手引きをどうぞ存分にご活用ください。

《お子さんの家庭学習のために保護者のみなさんができること》

- 1 お子さんが集中して学習できる環境をつくること**
→テレビや音楽を消して静かになることと、整頓された場所があることで、集中して学習に取り組むことができるようになります。
(一人で整頓できない場合は、おうちの方も一緒に取り組んでみましょう)
- 2 毎日決まった時間に学習できる生活サイクルをつくること**
→食事と同じように毎日同じ時間に学習に取り組めるような生活サイクルを作ると、学習が習慣化しやすくなります。
(習い事などで、曜日によって生活サイクルが違うお子さんは、できるだけ同じくらいの時間を確保できるよう工夫してみましょう)
- 3 無理のない計画をつくること**
→お子さんの実態に合わせて計画を立てることで、毎日無理なく続けられるようになります。
(宿題にかかる時間や集中できる時間は、お子さんによって違います。宿題だけで精一杯のお子さんは、宿題に集中して取り組むようにしましょう。短時間で宿題を終えるお子さんは、他の学習にも取り組むようにしましょう。)
- 4 お子さんのがんばりを認め、ほめて励ますこと**
→認められ、ほめられ、励ましてもらうことで「できた」「やったあ」「うれしい」という思いが高まります。そして「もっとがんばろう」という気持ちが生まれるとともに、お家の方との関係も良好となっていきます。
- 5 学校からのおたよりや明日の準備を一緒に確かめること**
→学校生活が気持ちよくスタートできます。朝のよいスタートは、学校生活の充実にもつながり、学習意欲の高まりや学力の高まりにもつながります。
- 6 お子さんと遊んだり散歩したり本を読んだりして一緒に体験すること**
→お子さんに「させること」ばかりをふやすのではなく、お子さんと共に楽しい経験を重ねることは、勉強の基盤を広げるだけでなく、お子さんの心と体の成長に親が関わることができる大事な場面でもあります。